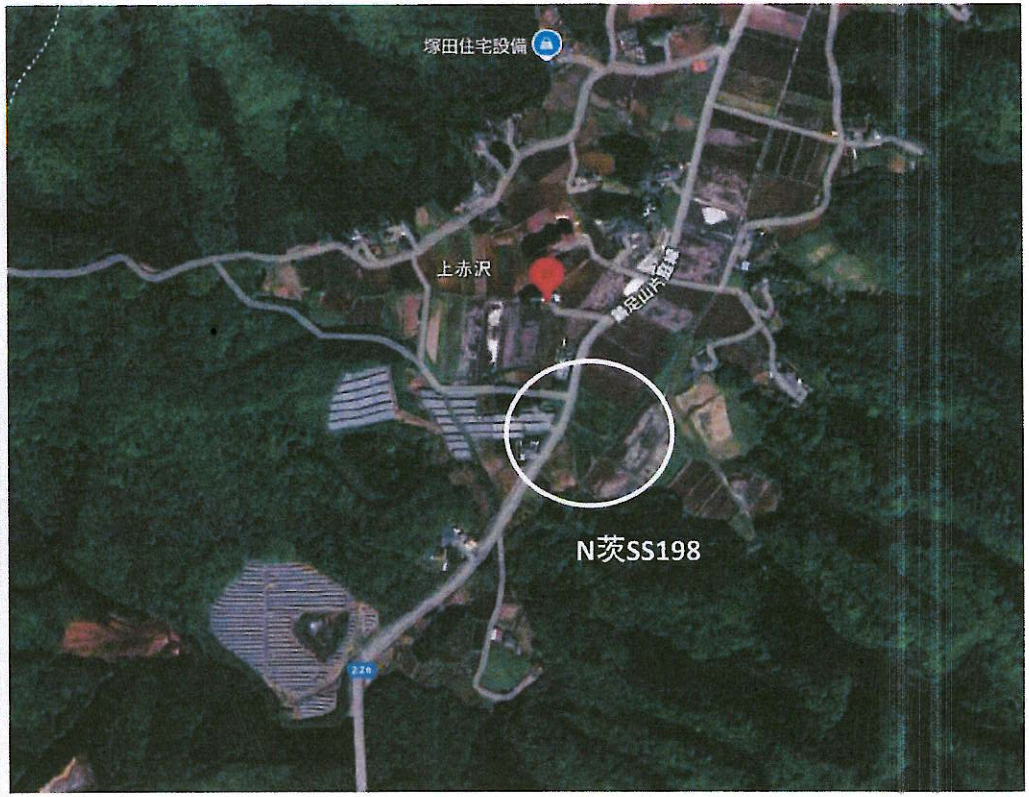
御　案　内　図

拡大図



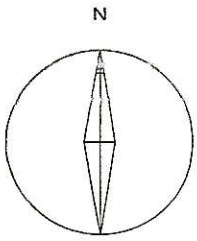
広域図



設置住所：茨城県東茨城郡城里町大字上赤沢字昭和田 551,552-1,553-1,554-1,555-1,556-1,557

N茨SS198

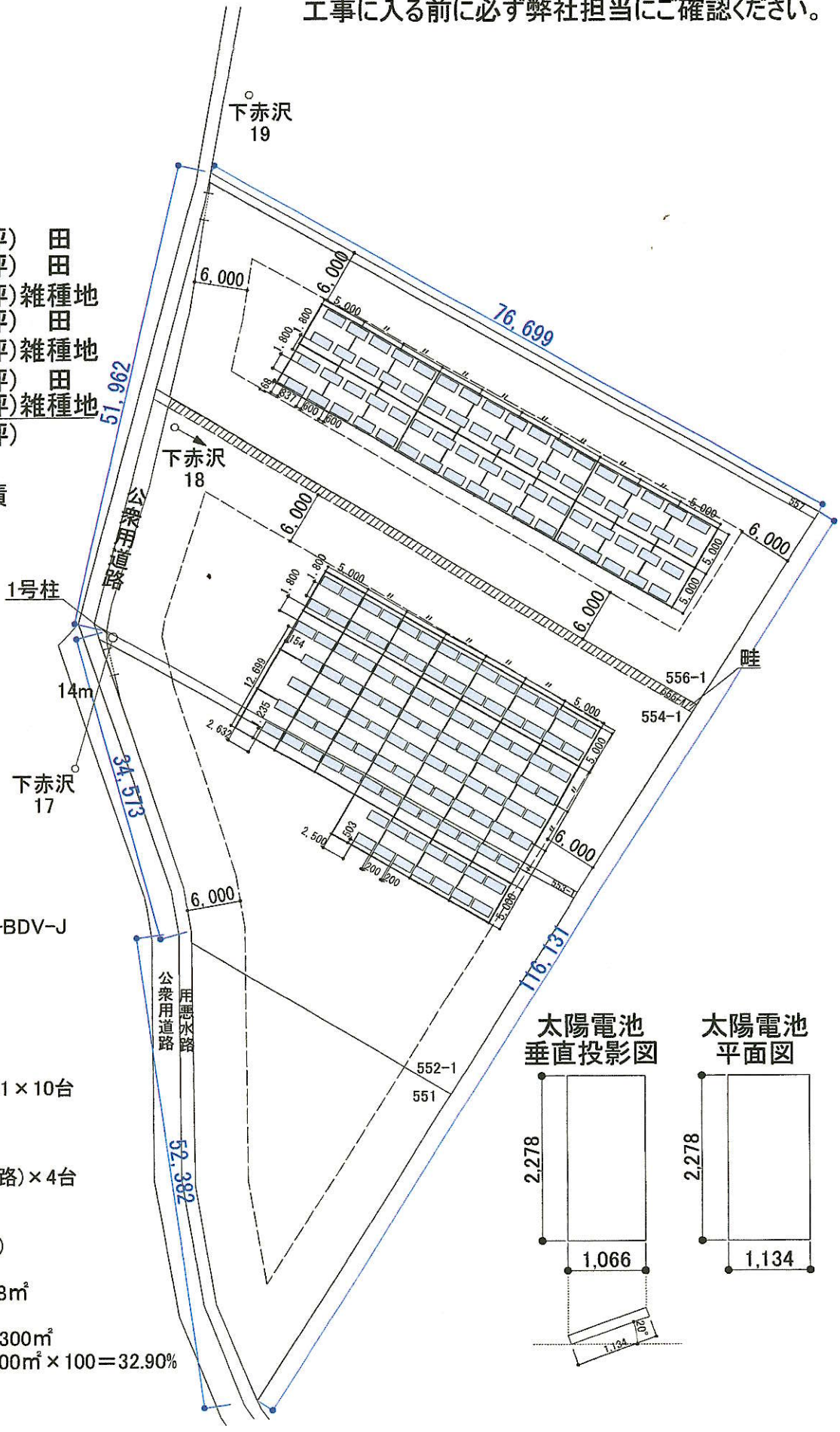
1号柱については、変更になることがありますので
工事に入る前に必ず弊社担当にご確認ください。



敷地面積

551	801㎡	(242坪)	田
552-1	1,105㎡	(334坪)	田
553-1	58㎡	(17坪)	雑種地
554-1	1,526㎡	(461坪)	田
555-1	66㎡	(19坪)	雑種地
556-1	1,688㎡	(510坪)	田
557	84㎡	(25坪)	雑種地
合計	5,328㎡	(1,608坪)	

太陽光設置面積
1,450㎡



太陽電池
型式：JKM595N-72HL4-BDV-J
枚数：176枚
角度：20度
高さ：3m
容量：104.72kW
方位角：330°
パワーコンディショナー
SUN2000-4.95KTL-JPL1×10台
4.95kW×6台
(9直×2回路)×6台
4.95kW×4台
(9直×1回路+8直×1回路)×4台

遮光率
太陽光モジュール(2.43㎡)
(モジュール総面積)
176枚×2.43㎡≒427.68㎡
(占有総面積)
5m×5m×52スパン＝1,300㎡
遮光率＝427.68㎡÷1,300㎡×100＝32.90%

太陽電池 垂直投影図

太陽電池 平面図

東茨城郡城里町大字上赤沢字昭和田
551,552-1,553-1,554-1,555-1,556-1,557　S=1/600
株式会社クボタ様

N茨SS198

b 2026.06.30

（別紙様式例第１号）

営農型太陽光発電設備の下部の農地における営農計画書

作成年月日　2026年　7月　13日

営農者　氏名　株式会社アグロエスデービージー
代表取締役　阿久津　昌弘
住所　栃木県塩谷郡塩谷町大字泉352番地2

設置者　氏名　株式会社クボタ
代表取締役社長　花田　晋吾
住所　大阪府大阪市北区大深町5番54号
グラングリーン大阪南館パークタワー

土　地　所在・地番　東茨城郡城里町大字上赤沢字昭和田
551, 552-1, 553-1, 554-1, 555-1, 556-1, 557

１．　営農型太陽光発電設備の下部の農地及び営農者の概要

(1) 営農型太陽光発電設備の下部の農地の概要

	地目	面積（㎡）
営農型太陽光発電設備の下部の農地	田	5,120
	雑種地	208
合計		5,328

（記載要領）
- 地目には、田、畑、樹園地のいずれかを記入してください。
- 営農型太陽光発電設備の下部の農地の面積は、当該設備の存する区画全体の面積を記入してください。

(2) 下部の農地の営農者の概要

① 営農者の属性

営農者の属性	該当（○）
ア　効率的かつ安定的な農業経営（※１）	
イ　認定農業者（※２）	
ウ　認定新規就農者（※３）	
エ　将来法人化にして認定農業者になることが見込まれる集落営農	
オ　アからエまで以外の者	○

※１　主たる従事者が他産業従事者と同等の年間労働時間で地域における他産業従事者とそん色ない水準の生涯所得を確保し得る経営
※２　農業経営基盤強化促進法（昭和55年法律第65号）第12条第1項に規定する農業経営改善計画の認定を受けた者
※３　農業経営基盤強化促進法第14条の4第1項に規定する青年等就農計画の認定を受けた者
※４　アからエまでに該当する場合は、当該属性を証明する資料を添付すること

② 営農者の農作業経験等の状況

農作業経験等（農作業歴）	左のうち作付予定作物の農作業歴
菅谷　英位（40年）	麦：7年
鬼澤　武寿（7年）	麦：7年

（記載要領）
- 「農作業経験等（農作業歴）」及び「左のうち作付予定作物の農作業歴」については、農作業歴がある場合にはその作付作物と年数を記載してください。また、農作業歴がない場合には、「なし」と記載ください。

2．栽培計画

(1) 下部の農地における作付予定作物及び作付面積

	作付予定作物名	作付面積（㎡）	栽植密度（株・本・播種量(kg)/10a）	生長の指標（樹高・分枝状況等）
1年目(2026)	工事期間			
2年目(2027)	緑肥	5,038	3.0kg	
3年目(2028)	小麦	5,038	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	5,038	3.0kg	
4年目(2029)	小麦	5,038	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	5,038	3.0kg	
5年目(2030)	小麦	5,038	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	5,038	3.0kg	
6年目(2031)	小麦	5,038	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	5,038	3.0kg	
7年目(2032)	小麦	5,038	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	5,038	3.0kg	
8年目(2033)	小麦	5,038	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	5,038	3.0kg	
9年目(2034)	小麦	5,038	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	5,038	3.0kg	
10年目(2035)	小麦	5,038	7.4kg～8.0kg	
	緑肥	5,038	3.0kg	

(記載要領)

- 各年の「作付面積」の合計は、1に記載した営農型太陽光発電設備の下部の農地の面積と一致します。
- 収穫まで複数年の期間を要する作物の場合は、「生長の指標」の欄に、収穫年の予定収量のほか、収穫までの各年の生育の指標を記入してください。また、記入に当たっては、別紙様式例第4号の収穫年と整合するようにしてください。
- 連作障害等の対応のため、一時的に土壌改良等を行うことが予定されている場合は、「作付予定作物名」の欄に、当該土壌改良の具体的内容を記入してください。

(補足事項)

緑肥は小麦の連作障害防止のため、土壌改良材として使用いたします。使用品種については「シロクローバー」「ヘアリーベッチ」「セスバニア」「クロタラリア」の中から時期や環境に合ったものを選定いたします。

※3年後に再度転用申請を実施する予定ですので、栽培計画は10年間で記載しております。

(2) 営農に必要な農作業の期間

月	作付予定作物名	農作業の内容											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
1年目 (2026)	工事期間												
2年目 (2027)	緑肥 (土壌改良)				除草		除草	播種	畦畔除草	すき込み			
3年目 (2028)	小麦				除草		除草				耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔除草	すき込み			
4年目 (2029)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔除草	すき込み			
5年目 (2030)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔除草	すき込み			
6年目 (2031)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔除草	すき込み			
7年目 (2032)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔除草	すき込み			
8年目 (2033)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔除草	すき込み			
9年目 (2034)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔除草	すき込み			
10年目 (2035)	小麦		麦踏	追肥散布		除草	収穫	藁処理 除草			耕起 基肥散布	播種	麦踏
	緑肥 (土壌改良)							播種	畦畔除草	すき込み			

(記載要領)

- 作物ごとに農作業の内容欄に栽培期間と必要となる農作業の内容・その作業期間を具体的に記入してください。
- 収穫まで期間を要する作物の場合、収穫年までの各年については、(1)の生長の指標に沿って、収穫までに必要となる作業内容を具体的に記入してください。

※3年後に再度転用申請を実施する予定ですので、栽培計画は10年間で記載しております。

(3) 利用する農業機械

農業機械名	数量	所有・リースの別 (導入予定の場合にはその旨)	寸法（cm） (全長、全幅、全高)	機械出力 (ps、kw)	備考
トラクター①	2	リース	328×170×251	54.4ps	
トラクター②	2	リース	403.5×193×257	80ps	
ロータリー①	1	リース	133×219×114.5	40～60ps 対応	アタッチメント
ロータリー②	2	リース	139×292×142.5	80～114ps 対応	アタッチメント
ブロードキャスター	1	リース	122.5×239×110		アタッチメント
溝堀機	1	リース	196×167×135	20～60ps 対応	アタッチメント
播種機	2	リース	80×18×90		アタッチメント
麦踏ローラー	2	リース	66×254×89		アタッチメント
コンバイン	3	リース	552×215×270	75.3ps	5条刈

(記載要領)
- 機械出力・寸法については、カタログの写しの添付でも可。
- なお、許可の可否は、作付する農作物の栽培を効率的に行う上で、通常必要となる農業用機械を想定して判断することになりますので、御留意ください。

(4) 農作業に従事する者

農作業従事者数		備考
常時（人日）	臨時（人日）	
1	3	臨時従事者については、株式会社アグロエスデービージーと株式会社アグロエコロジーの二社間で作業受委託契約を結び、麦栽培期間の11月から翌年6月まで播種・麦踏み・収穫等の作業を行っていただく。

(記載要領)
- 備考欄には、臨時従事者の雇用期間及び作業内容等を記入してください。

(5) 下部の農地における単収見込み等

ア　イ以外の場合

(ア)　(イ) 以外の場合

作付予定作物	単収見込み（A）(kg/10a)	地域の平均的な単収（B）(kg/10a)	単収の増減見込み（A／B×100（%））	地域の平均的な単収の根拠
小麦	有機耕作　195	有機耕作　242	約80.4%	農林水産省市町村別基本データ（R7年度）、CropLife(元農薬工業会)の農薬を使わない場合の減収率より算出。 参照　小麦：36%

(記載要領)
- 「単収見込み」は、1年目の単収見込みを記載してください。
- 「地域の平均的な単収」は、原則として市町村の統計等を用いてください。
- 「地域の平均的な単収の根拠」は、統計調査名や比較対象とした地域等を記載ください。なお、統計調査以外の内容を記載する場合には、比較対象として適切であると判断した理由を具体的に記載してください。

(イ) 申請に係る市町村において栽培されていない又は生産に時間を要する農作物を栽培する場合

作付予定作物	単収見込み (kg/10a)	単収の根拠

(記載要領)

・ 「単収見込み」は、試験的に実施した栽培の実績に係る単収又は別紙様式例第４号２の「単収見込」を記載してください。

イ 遊休農地を再生利用する場合

作付予定作物	農地の利用の程度

(記載要領)

・ 「農地の利用の程度」は、周辺の地域における農地の利用の程度と比較した利用の程度を記載してください。

参考様式第5－2号

地域計画

策定年月日	令和7年3月28日
更新年月日	令和8年9月11日 （第6回）
目標年度	令和16年度
市町村名 （市町村コード）	城里町 （083101）
地域名 （地域内農業集落名）	七会地区 （七会地区全域）

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

（1） 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	384.04 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	194.14 ha
② 田の面積	220.74 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	163.30 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	29.77 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	3.00 ha
（参考）区域内における○才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:（参考）の区域内における○才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（2） 地域農業の現状及び課題

本地区では、農業者の高齢化や後継者不足に加え、除草作業の労働負担、所有者不明の農地の問題などから、荒廃農地が拡大している。また、耕作されている農地でも、雑草が多い農地も見受けられる。さらにイノシシの増加による被害も深刻化している。農地の耕作条件としては、区画や農道が狭いことや水路が未整備であることや管理不足等から、基盤整備を望む声がある。収益性の確保についても、農機具や肥料の高騰により、農業が儲からない状況である。そのため、特産品の創出や販路確保が望まれている一方で、一人一人が知恵を出し合うこと、既存の農業施策を活用することの重要性などの声もある。

（3） 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

現在作付けされている主な作物としては、水稲、飼料米、牧草、ナス、そば、イチジク、梅が挙げられる。
今後耕作したい作物としては、ゆず、カボス、スダチ、レモン、キウイフルーツ、枝物（栗、ハナモモ）が挙げられており、柑橘系や比較的手間がかからない作物が求められている。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（1）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地中間管理機構への貸付けを進めて担い手への農地の集積・集約化を図る。

（2）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	5.81 %	将来の目標とする集積率	6.59 %

（3）農用地の集団化（集約化）に関する目標

担い手に集積された農地を担い手同士が相互的に集約化していくことを目標とし、面積の拡大を図る。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
農地中間管理機構を活用し、認定農業者や新規就業者等を中心に拡大を進めるとともに、担い手への農地集積を進める。
(2)農地中間管理機構の活用方法
農地が分散していると受け手が確保できないため、地域の意向を把握し、農地をまとめて農地中間管理機構に貸し付けられるようにする。
(3)基盤整備事業への取組
現在、本地区での基盤整備事業の計画はないが、事業を求める声は多いため、農業者や地域住民の意見を集約する。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
町、JA、茨城県農業経営課、農業改良普及センター等の関係機関と連携し、新規就農者や農業法人など、多様な経営体の確保・育成に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
町や土地改良、中間管理機構、JA等と連携を図り、補助金の活用方法、直接支払制度の利活用広報、農機具のリースや助成、技術経営指導などを活用する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

✓	①鳥獣被害防止対策		②有機・減農薬・減肥料	✓	③スマート農業		④畑地化・輸出等	✓	⑤果樹等
✓	⑥燃料・資源作物等	✓	⑦保全・管理等		⑧農業用施設	✓	⑨耕畜連携等	✓	⑩その他

【選択した上記の取組内容】
①鳥獣被害防止対策の取り組みを推進する。
③スマート農業の取り組みを推進する。
⑤果樹等の高収益性の高い作物の作付けを推進する。
⑥燃料・資源作物等の取り組みを検討する。
⑦耕作放棄地対策として、枝物の栽培を検討する。
⑨耕畜連携等の取り組みを検討する。
⑩農業公社の設立により、販路確保や拡大、6次化商品開発が求められている。また、生産部会の設立や若手農家のコミュニティづくりなど、農業者の連携が必要との意見もある。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者(氏名・名称)	現状			10年後(目標年度:令和　年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
	別紙のとおり		ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	0経営体		0 ha	0 ha		0 ha	0 ha		

注1:「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者(農協を除く)は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2:「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3:農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4:作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5:備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5　農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 （氏名・名称）	作業内容	対象品目
1	常陸農業協同組合	防除・薬剤散布	水稲

6　目標地図

7　基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・%）	

注1：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4　地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）【七会地区　氏名非表示】

属性	農業を担う者 （氏名・名称）	現状			10年後 （目標年度：令和16年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
認就	営農者A	水稲等	1.42 ha	ha	水稲等	2.42 ha	ha	A	
認農	営農者B	繁殖和牛	0.68 ha	ha	繁殖和牛	1.68 ha	ha	B	
利用者	営農者C	水稲等	0.58 ha	ha	水稲等	0.58 ha	ha	C	
認農	営農者D	水稲等	0.05 ha	ha	水稲等	1.05 ha	ha	D	
認農	営農者	水稲等	7.78 ha	ha	水稲等	7.78 ha	ha		
認農	営農者	水稲等	3.18 ha	ha	水稲等	3.18 ha	ha		
認農	営農者	水稲等	2.94 ha	ha	水稲等	2.94 ha	ha		
認農	営農者	水稲等	2.70 ha	ha	水稲等	2.70 ha	ha		
認農	営農者	水稲等	1.84 ha	ha	水稲等	1.84 ha	ha		
利用者	営農者	水稲等	1.73 ha	ha	水稲等	1.73 ha	ha		
認農	営農者	水稲等	1.72 ha	ha	水稲等	1.72 ha	ha		
利用者	営農者	水稲等	0.25 ha	ha	水稲等	0.25 ha	ha		
認農	営農者	露地野菜等	0.00 ha	ha	露地野菜等	0.00 ha	ha		
利用者	営農者	菌床栽培	0.23 ha	ha	菌床栽培等	0.23 ha	ha		
利用者	営農者	果樹等	2.33 ha	ha	果樹等	2.33 ha	ha		
利用者	営農者	水稲等	1.04 ha	ha	水稲等	1.04 ha	ha		
利用者	営農者	水稲等	0.00 ha	ha	水稲等	0.00 ha	ha		
その他			355.57 ha	ha		352.57 ha	ha		
合　計			384.04 ha	ha		384.04 ha	ha		

認農等合計	22.31 ha	認農等合計	25.31 ha
現状の集積率	5.81 %	将来の集積率	6.59 %
認農等小計	28.47 ha	認農等小計	31.47 ha